ボーリング柱状図

調　査　名　国道182号外　道路災害防除事業に伴う業務委託(一般国道182号外)

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H30-BP.1 (No.3+4.0)	調査位置	広島県神石郡神石高原町			北緯	34° 41' 58.2"		
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	平成 30年 9月 19日 ～ 30年 9月 21日	東経	133° 15' 16.7"		
調査業者名		管理技術者		照査技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	524.40m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 50°	使用機種	
総掘進長	8.00m								
試錐機	YBM製YBM-05型	ハンマー落下用具	半自動落下						
エンジン	ヤンマー製NSD-8型	ポンプ	東邦BG-3C						

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
1					強風化輝緑凝灰岩	黄褐	緩み大(空洞あり)		表層10cmのみ表土で、直下から崩壊露出面で確認できる強風化変質岩。土砂状～角礫状主体で、外周を残す部分もDL級相当で、既に緩んでいる。いずれの状態も岩片岩芯まで著しく強風化土砂化し、岩塊の強度はない。2.15～2.35m付近は、開口割れ目部分で空洞又は緩みが顕著と推定できる。1.6mで送水が全逸水した。		1.15	9	12	13	34/30	34						
2											1.45											
	521.55	2.85	2.85								2.15	1/20	0/0	2	3/30	3						9/19
3											2.45											
					強風化輝緑凝灰岩	黄褐～淡褐灰	中ぐらい		土砂状～角礫状主体で、外周を残す部分もDM級相当。いずれの状態も岩片岩芯まで著しく強風化し脆弱化進行。一部、破砕帯様を呈す粘土を挟む。		3.15	10	12	13	35/30	35						
4											3.45											
											4.15	15	21	14/6	50/26	58						
5	519.15	2.40	5.25								4.41											
											5.15	17	23/5	10	50/25	60						
6											5.40											
					風化輝緑凝灰岩	淡褐灰	密		土砂状～角礫状～なんとか外周を残す短棒状コアで採取される。風化著しく、DM～CL級の軟岩Ⅰ相当。		6.15	11	15	11	37/30	37						
7											6.45											
											7.15	9	10	21/7	40/27	44						
8	516.40	2.75	8.00								7.42											
											8.15	50/9			50/9	167						9/20
											8.24											